

NJT 銅管株式会社の銅管を使用した冷媒用被覆銅管について

平素は、弊社商品をご愛顧くださり、誠にありがとうございます。

このたび、弊社の冷媒用被覆銅管に使用している銅管の製造元である NJT 銅管株式会社（以下 NJT 社とする）が、2021 年 3 月 18 日から 6 月 18 日までの 3 ヶ月間、JIS 認証一時停止処分を受けることとなりました。

但し、今回の NJT 社における不適合製品は弊社商品に使用されたものではないということ、そして JIS 認証停止期間中に納品される「JIS 相当品」に関しても、品質は JIS 規格を遵守したものである旨、NJT 社より報告を受けております。

（別紙『貴社向け弊社銅管製品の調査に関するご報告』及び『JIS H3300 相当表示品に関して』をご参照ください。）

また、一般社団法人 日本銅センター様より、今後、NJT 社より納入される「JIS 相当品」についても、「JCDA0009 冷媒用断熱材被覆銅管」及び「JCDA0010 一般用途冷媒用断熱材被覆銅管」の規格に適合するとのご報告をいただいております。

これにより、弊社商品の梱包箱等の表記につきましては「JIS マーク」及び「JIS 認証品」の表示はありませんので、従来通りの表記となります。

皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。今後より一層の品質管理に努めて参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2021 年 3 月 26 日

桃陽電線株式会社
代表取締役 奥田 康信

桃陽電線株式会社 御中

2021年3月25日

N J T 銅管株式会社
品質保証部 品質保証室



貴社向け弊社銅管製品の調査に関するご報告

このたび、弊社において、お客様に提示した製品の検査データについて、一部、検査データの書き換えを行っている事実（以下、「不適切行為」といいます。）が判明しました。お客様に多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

今回の品質不正事案の発覚を受け、弊社においては2016年10月から2021年3月（一部3カ月分のデータなし）までの期間を対象として、検査証明書と検査実績データの突合せを実施しました。

その結果、貴社への製品品質の問題につながる事象はなく、且つJISに適合した製品であることを確認いたしました。

なお、当社は、不適切行為について、JIS認証審査機関である日本検査キューエイ株式会社（JICQA）に対して報告を行い、2021年3月16日に同社より監査を受け、2021年3月18日、当社JIS H3300「銅及び銅合金の継目無管」に対するJIS認証について、2021年3月18日から2021年6月18日まで（3か月間）の期間、JISマーク等使用の一時停止が決定されました。

また、2021年3月25日付でISO9001認証の一時停止が決定されました。

そのため、当該期間及び再認証判断が得られるまでの期間においては、お客様に出荷させて頂く従前のJIS製品については、JIS相当品という製品名にはなってしまいますが、JIS規格を満たすよう、徹底・遵守して出荷させて頂きます。

このような事案を生じさせましたことにつき、深く反省するとともに、お客様をはじめ、皆様に多大なご心配、ご迷惑をお掛けしますことを心よりお詫び申し上げます。また、当社の社会的信頼を回復するため、速やかに是正措置を実行し、再発防止を徹底することで、早期にJISマーク及びISO9001認証の再使用ができるよう全力を尽くす所存でございます。

今後とも、お引き立てを賜りますよう、伏して宜しくお願い申し上げます。

以上

取引先 各位

2021年3月19日
N J T銅管株式会社

J I S H 3 3 0 0 相当表示品に関して

平素は格別のご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

この度は、多大なるご迷惑及びご心配をお掛けすることとなり、深くお詫び申し上げます。

2021年3月18日に弊社が取得しておりましたJ I S 認証（J I S H 3 3 0 0 銅及び銅合金継目無し管）の一時停止の通知を受けたことにより、該当製品についてJ I S マークを表示して出荷することが出来なくなりました。性能的にはJ I S 規格を満たす製品を出荷することは可能なため、納入させて頂く製品は、J I S 規格に於いて必要とされる全ての検査を実施し、J I S 規格に定められた仕様を満たしていることが確認された製品となります。このことを示すため、当該製品の外装ラベル・内装ラベル・材料検査成績表には「ソウトウ」と表示しております（別紙にて表示事例を示します）。

J I S 相当表示品は品質的にはJ I S 規格に準拠しておりますため、J I S 相当表示品によるお取引の継続をお願い致したく、何卒、宜しくお願い申し上げます。

尚、この度のJ I S 認証の一時停止は、弊社に於いて製品の検査結果の改竄が判明し、弊社のJ I S マーク表示製品に関する品質管理体制が不十分であるとの判断がなされたことによります。

そのため、弊社では再発防止につきましては、今後、次のような措置を進めて参ります。

- (1) 試験結果の入力作業における手動介入を防ぐため、試験装置のオンライン化による試験結果の自動読み取り化を早急に進めて参ります。(目標完了期限 2021年4月30日)
- (2) お客様と取り交わした仕様書に於いて、弊社の工程能力を大幅に超えている製品につきましては、お客様との協議の上、適正な仕様範囲への見直しを進めさせていただきます。
- (3) 第三者委員会の調査結果並びに指導に基づき、弊社内において本件関与した者に対し相応の処分、並びに従業員に対するコンプライアンス教育等モラル向上の再発防止策を実行致します。

改めまして、心より深くお詫び申し上げます。

以上